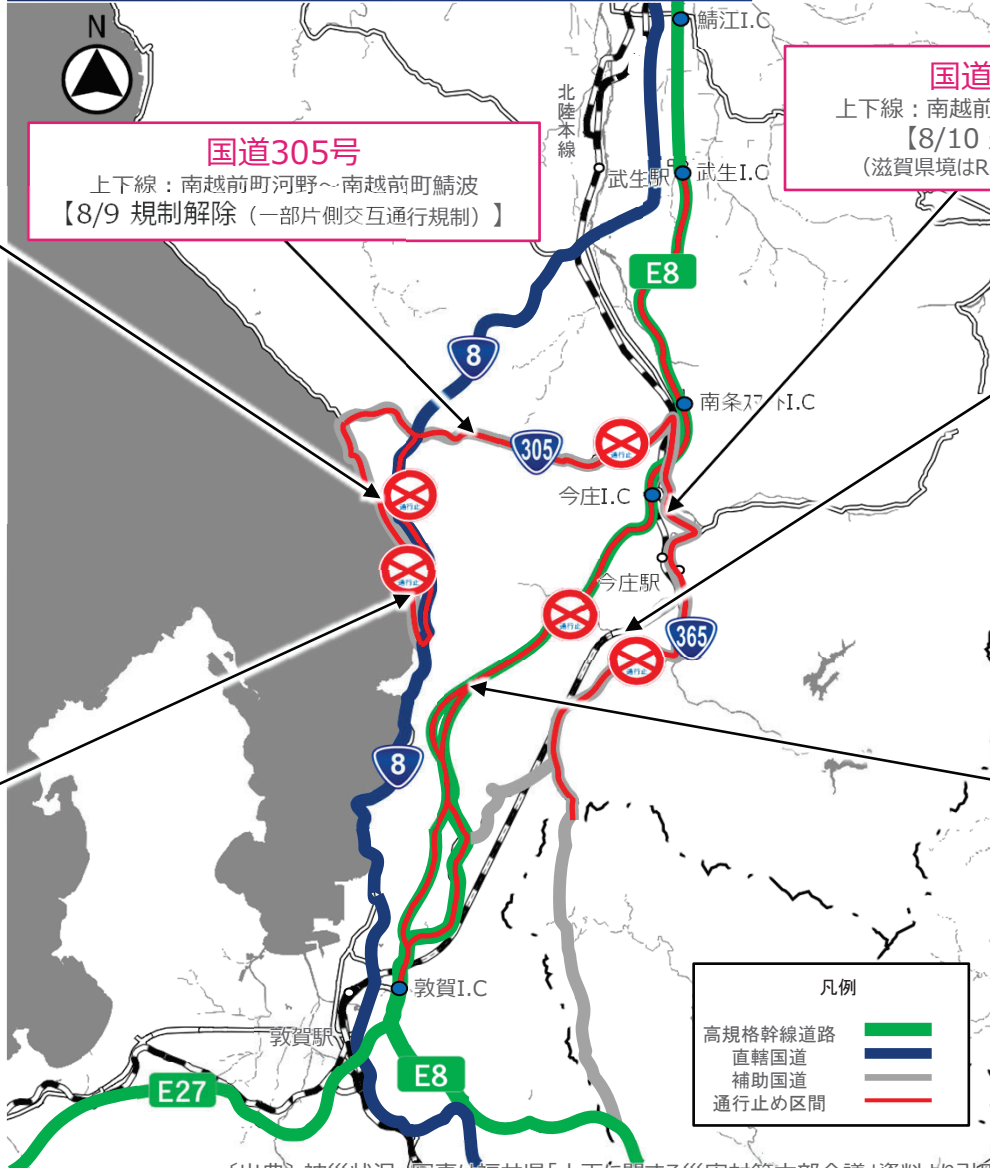


脆弱な国土と災害リスク(大雨)



- 福井県の年間降水量(1991年～2020年の平均)は2,299mmで全国7位
- 2022年8月の豪雨災害では、北陸自動車道、国道8号、国道365号等の道路や鉄道がすべて通行不可となり、嶺北と嶺南を結ぶ幹線交通網が寸断されたため、経済活動に大きな影響を及ぼした

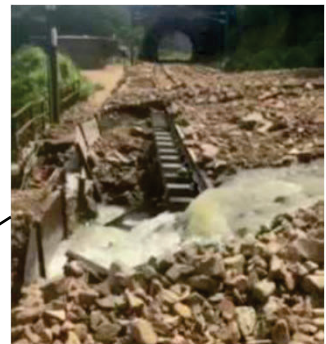
2022年8月の豪雨による主要な被災箇所



国道8号
 上下線：南越前町鱒橋交差点～敦賀市大比田交差点
 【8/9 片側交互通行規制、8/20 規制解除】

国道305号
 上下線：南越前町河野～南越前町鱒波
 【8/9 規制解除 (一部片側交互通行規制)】

国道365号
 上下線：南越前町鱒波～滋賀県境
 【8/10 規制解除】
 (滋賀県境はR6.4.26規制解除)



J R北陸本線
 上下線：敦賀駅～今庄駅
 【8/11より運転再開】



しおかぜライン
 上下線：南越前町河野～敦賀市大比田
 【8/26 規制解除 (一部片側交互通行規制)】



北陸自動車道
 上り線：敦賀IC～武生IC
 【8/10 規制解除 (8/19まで無料措置)】
 下り線：敦賀IC～今庄IC
 【8/27 規制解除】

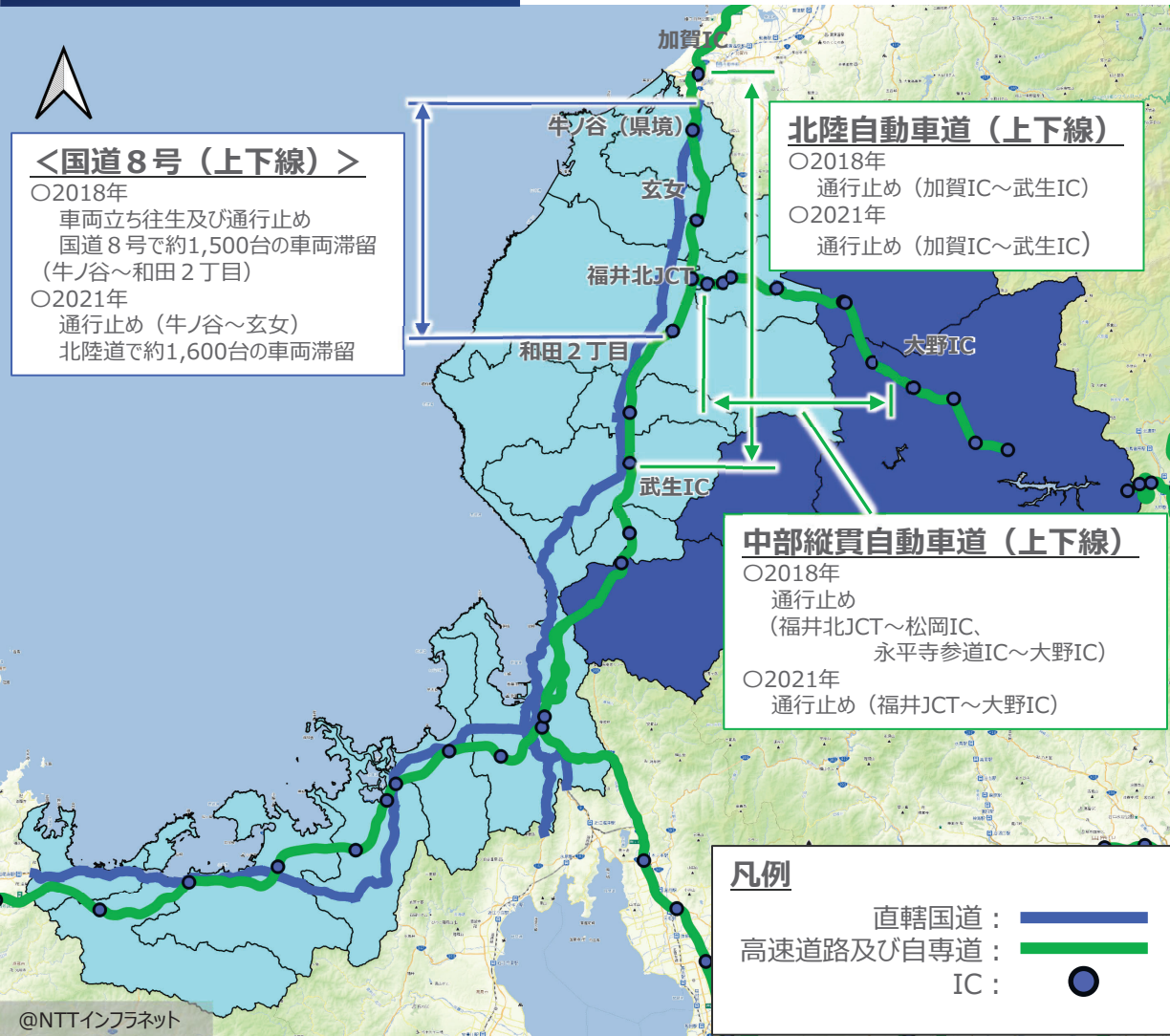
〔出典〕被災状況、写真は福井県「大雨に関する災害対策本部会議」資料より引用

脆弱な国土と災害リスク(大雪)



- 福井県の年間降雪量(1991年～2020年の平均)は186cmで全国7位
- 2018年、2021年は記録的な大雪となり、県内各地で車両の立ち往生や通行止めが発生し、物流が止まり生活物資が一時的に不足するなど、県民の生活に大きな影響を与えた

近年の豪雪時における道路規制状況



(出典) 国土数値情報、豪雪地帯 (H28) をもとに作成

国道8号において立ち往生が発生(2018年豪雪時)



■ : 豪雪地帯

積雪が特に甚だしいため、産業の発展が停滞的で、住民の生活水準の向上が阻害されている地域

■ : 特別豪雪地帯

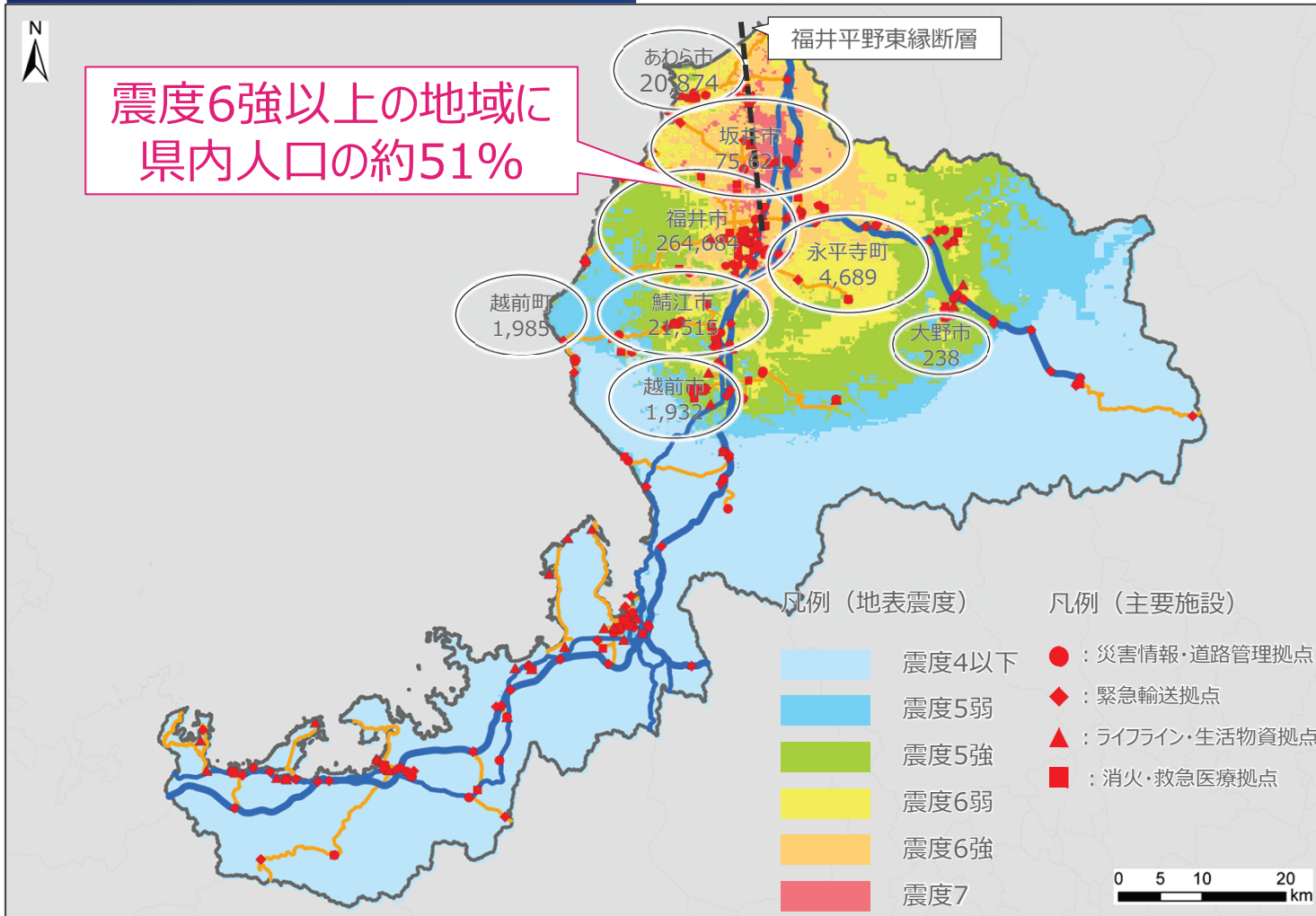
豪雪地帯のうち、積雪の度が特に高く、積雪により長時間自動車の交通が途絶する等により住民の生活に著しい支障を生ずる地域

脆弱な国土と災害リスク(地震)



- 「福井平野東縁断層帯地震時」の震度6強以上が予測される地域に県人口の約51%が集中
- 嶺北地域では過去に、1948年に震度6、2020年に震度5弱の地震が発生
- 2024年1月に発生した能登半島地震では、あわら市において震度5強を観測し、道路陥没等の被害が発生

福井平野東縁断層帯地震の震度分布と曝露人口



能登半島地震によるあわら市の道路陥没



市道が陥没し、通行止め

〔出典〕 災害協定関西地区連絡会調査団 (地盤工学会)
「2024年能登半島地震による福井県の被害」

〔出典〕 予測震度、福井県域道路啓開計画策定ワーキンググループ「福井県域道路啓開計画」(令和7年1月)
曝露人口、国立研究開発法人 防災科学技術研究所「全国地震動予測地図」